

## カラフルなトーテムポールを作ろう！



1/28 みとよ未来創造館

▶講師の亀山さんによる読み聞かせ

絵本やイラスト、工作などを手掛けるユニット「tupera tupera (ツペラツペラ)」の亀山達矢さんを招き、ワークショップを開催。約80人が段ボール箱に色を塗って、トーテムポール作りに挑戦しました。



▲みんなで作って、背の高いトーテムポールができあがりました



▲大きく育ったものを見つけて収穫していきます

## 給食に出るブロッコリーを自分たちで収穫

比地大小学校1・2年生40人が、生活の授業の一環で収穫体験に参加しました。JA香川県豊中支店の職員の方から手順を聞くと、一人ひとり丁寧にブロッコリーを収穫。その後、豊中町のJA集荷場へと移り、箱詰めして出荷される様子を見学しました。また、この日収穫したブロッコリーは、市内の学校給食で提供されました。

1/19 豊中町内



▲集荷場の見学も



▲出荷のお手伝いをしました

## みとよの未来について語り合うまちづくりカフェを初開催

1/20 危機管理センター



▲まちに対するお互いの意見に、真剣に耳を傾ける参加者の皆さん



▲カフェのようにオープンな雰囲気の中、7つのテーブルに分かれて話し合いました

三豊まちづくりカフェ（市民会議）は、市民の皆さんからの意見やアイデアを「三豊市第2次総合計画・基本構想」の策定に活かすために行われたもの。約40人の参加者が集い、「みとよの自慢できるところ」「10年後に変わっていると思うところ」「まちの魅力を高めるために必要なこと」という3つのテーマについて意見を出し合いました。ここで出されたさまざまな意見は、今後、三豊市総合計画審議会に報告し、総合計画の基本構想づくりに取り入れられる予定です。



▲最後に、グループごとに意見を発表

## みとよHOT★ほっとNEWS

デイリー版ほっとニュースは市ホームページで三豊市

2/10 竹とあかりのまちづくり



▲▶手作りの竹灯笼に明かりが灯ると、会場は趣のある雰囲気に包まれました

## にぎわいづくりの第一歩 地域を照らす明かりのイベント



▲ワークショップで作った竹灯笼。「星やハートの形に穴を開けたよ」

まちづくり推進隊高瀬が主催する「第1回竹とあかりのまちづくり」がたかせ天然温泉で開催されました。当日は竹灯笼作りのワークショップも行われ、親子など33組が竹筒に穴を開けて作品づくりに取り組みました。また、市民センター仁尾の芝生広場では、まちづくり推進隊仁尾によってイルミネーションが点灯されました。約3万球のLEDが冬の夜をきらびやかに彩りました。



2/10 バレンタインイルミネーション



▶バレンタインデーの時期に合わせて、ロマンチックに演出

## 43年間の愛育会活動に厚生労働大臣賞

1/15 三豊市役所

三豊市愛育会の田尾弘子会長が「平成29年度健やか親子21全国大会」において、厚生労働大臣表彰を受けました。田尾会長はこれまで43年間、愛育会の活動に取り組んでおり、その長きにわたる活動が親子の健康に寄与したと評価され、今回の受賞へとつながりました。



▲「今後もお母さんたちの輪をつなげていきたい」と三豊市愛育会の田尾弘子会長